山田小学校だより

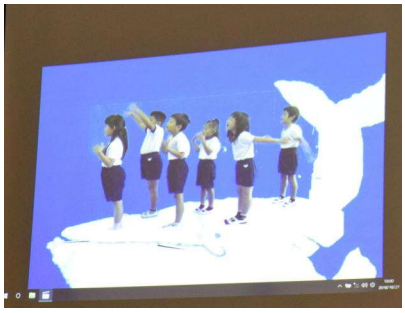
―第10号―

文責　小野

10月30日

10月も下旬となり、日に日に寒さが厳しくなってきました。２学期の始業式は気温が30度を超え熱中症が心配された８月22日（水）でした。月日の経つのは本当に早いものだと感じます。

さて、先日は、阿南教育長を始め、各区長、山田小学校コミュニティースクール推進委員、閉校実行委員、内牧小学校の先生、山田保育園、関係ボランティア、保護者、そして地域の方等、多くの方に見守られ、本校最後の学習発表会を実施できました。本当にありがたく思います。



学習発表会は、日頃の学習のまとめや学習の積み重ねの成果を発表し、児童一人一人の成長が確認できる場となります。人前で発表したり、表現したりすることの「喜び」と「自信」を得させることもできますし、保護者や地域の方に参観してもらうことで、学校教育への理解を図ることもできます。

１年生にとっては、小学校に入学して初めての発表会でした。６年生にとっては、これが小学校生活最後、集大成の発表会となりました。そしてどの学年にとっても、山田小学校での最後となる特別な発表会でした。

子どもたちは、いろいろな思いを込めて、当日を楽しみに練習を積み重ねてきました。そして当日を迎え、朝からうれしくてわくわくしている子ども、緊張でドキドキしている子ども、寸暇を惜しんで最後の練習をしている子ども、係の仕事の確認をしている子どもなど・・・子どもの姿は一人ひとり違いましたが、がんばってきた自分を信じて、友達を信じて、今できる最高の演技を見てもらおうと張り切っていました。

最後まで温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。子どもたちへの温かい励ましの拍手は何よりの子どもたちへの応援となりました。今後の学習への意欲にもつながったし、先行統合した学校での自信にもつながったと思います。

また、ＰＴＡの方には、その後の餅つき大会を準備いただき、本当にありがとうございました。

子ども達にとって、思い出に残る１４４年の伝統のある山田小学校最後の素晴らしい学習発表会になったことと思います。